やこう

令和５年１１月３０日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

学校だより　令和５年度１２月号

矢向小の伝統と誇りを胸に

校長　沼田　留美子

１１月１１日（土）は、矢向小学校創立８０周年をお祝いし、児童主催の「おいわいまつり」と８０周年実行委員会主催の「式典・祝賀会」が行われました。

「おいわいまつり」では、前日に配ったお祝いのバンダナを早速身に付けて参加している子もたくさんいました。おそらく今年横浜市内で作られた児童手作りのお祝いのうち、最も大きいと思われるケーキが完成。お祝いの灯がともされました。また、全校で決めた児童考案のキャラクター「さくらん」と「ほたるん」も登場。さらには「矢向レンジャー」も登場して、大いに８０周年を盛り上げてくれました。児童代表の６年生は次のように話していました。

「矢向小は共に学んだり、遊んだり、ときにはけんかをしたりと様々な経験をさせてくれました。皆さんにも、信頼できる友達、大切な友達がいるでしょう。それはとても特別でかけがえのないことで、矢向小があったからこそ出会えた友達なのです。そんな矢向小学校に改めて感謝します。矢向小学校がこれからもたくさんの学びと出会いの場として、これから先９０歳、１００歳と誕生日を迎えられることを祈っています。」

風の吹く中、原稿がひらひらと舞いながらも、しっかりと一言一言かみしめるように語る姿に感心しました。手に持っていた原稿は実は白紙で、自分の言葉で全校に語り掛けていたと後で聞き、さらに感動しました。校舎内もお祝い飾りがいっぱいです。全てのプログラムにおいて、まさに、子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための全校をあげての「おいわいまつり」となり矢向小学校の子どもたちのことを誇らしく思いました。

その後行われた「式典・祝賀会」では、矢向中学校吹奏楽部のはつらつとした演奏や、アドバンス・アローによる美しい合唱と演奏を聞き、心が洗われました。また、職員が心を込めて作成した VTR には、開校当時の様子から現在に至るまで、たくさんの子どもの姿が映し出され、さらにお祝いの気持ちが盛り上がりました。本来でしたら、もっと多くの方のご参会をいただきたかったのですが、感染症対策下での準備、運営だったこともあり、代表を中心とした限られた皆様のご参加になりました。地域に愛されている矢向小へのお気持ちを受け止めながら、次の９０周年へとバトンを引き継いでまいります。

１１月１７日（金）には鶴見区に図書カードの寄付を毎年してくださっている阪神タイガースの青柳晃洋選手が来校し、あきらめない心を子どもたちに伝えてくださいました。とても体が大きいので、青柳選手の姿を見るなり子どもたちから歓声が上がりました。

１１月２２日（水）に行った授業参観には、多くの保護者の皆様がお越しくださり、学習の様子を見ていただきました。ご来校ありがとうございました。

令和５年最後の学校だよりです。新しい年が皆様にとって輝かしい１年となりますようお祈りいたします。令和６年もどうぞよろしくお願いいたします。